

# 西横浜に新しい風が立つ 県央・共生通信

涙の最終 第7号！！

## 今月のトピックス

- ・チャリティ寄席を開催して
- ・みんなのみなとVOL.6
- ・就労サポートセンター「エヌ・クラブ(N-Clap)」と決まる
- ・編集後記

編集・発行元

横浜中部就労支援センター内

西区障害者就労支援型施設準備室

〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-3 横浜エムエスビル4F

TEL 045-350-2044 (担当:熊井)

MAIL satomi.kumai@tomoni.or.jp

ホームページ http://www14.ocn.ne.jp/~nisiyoko/

2009年3月24日発行

もろもろこみこみで勉強になりました。 編集長より (^-^)

## チャリティ寄席を開催して

西区サービス課 長谷川 淳

このチャリティ新春寄席の企画が持ち込まれたのは、昨年の10月頃のことです。西区役所税務課の石井担当課長が横浜市落語愛好会長であること、地域活動ホームPR部会の岩崎副会長が地元の小学校のコミュニティスクールで石井課長のグループの落語会を開催していること、など様々な偶然が重なってこのチャリティイベントが生まれました。

とりあえず場所を押さえようと公会堂に電話すると1月12日成人の日しか空きが無いとのことで日にちは即決しました。実際のところ、11月29日の米良さんのコンサートを間近に控え準備ができるのか？年末年始を挟むと期間が短く、チケットを十分に売ることができると不安な面も幾つかありました…

米良さんのコンサートが成功裡に終わり、一休みする間もなく大変心苦しかったのですが、皆様にチケット販売をお願いすることになりました。また、チラシ印刷や広報関係も石井課長にお世話になりっぱなしの状況でしたが、チケットは皆さんのご努力で予想以上に売ることができ、落語会のご協力で多くの人のご来場を得ることができました。

さて、当日は午前、午後の2回公演ということがいつもと違う点でしたが、非常にスムーズに進んだと思います。公会堂のイベントは昨年から3回目ともなると手馴れたもので、深野さんやボランティアの方々、共生会の方々などメンバーの役割分担でどんどん進めることができました(多謝)。

私も、今回は少し余裕があったこともあり合間を見つけてホールに入り、奇術に笑ったり、紙きりの妙技に惚れ惚れしていました。特に海老原さんの口笛によるウィリアムテル序曲やカルメンは感動すら覚えました。口笛でもあんなことができるんですね。

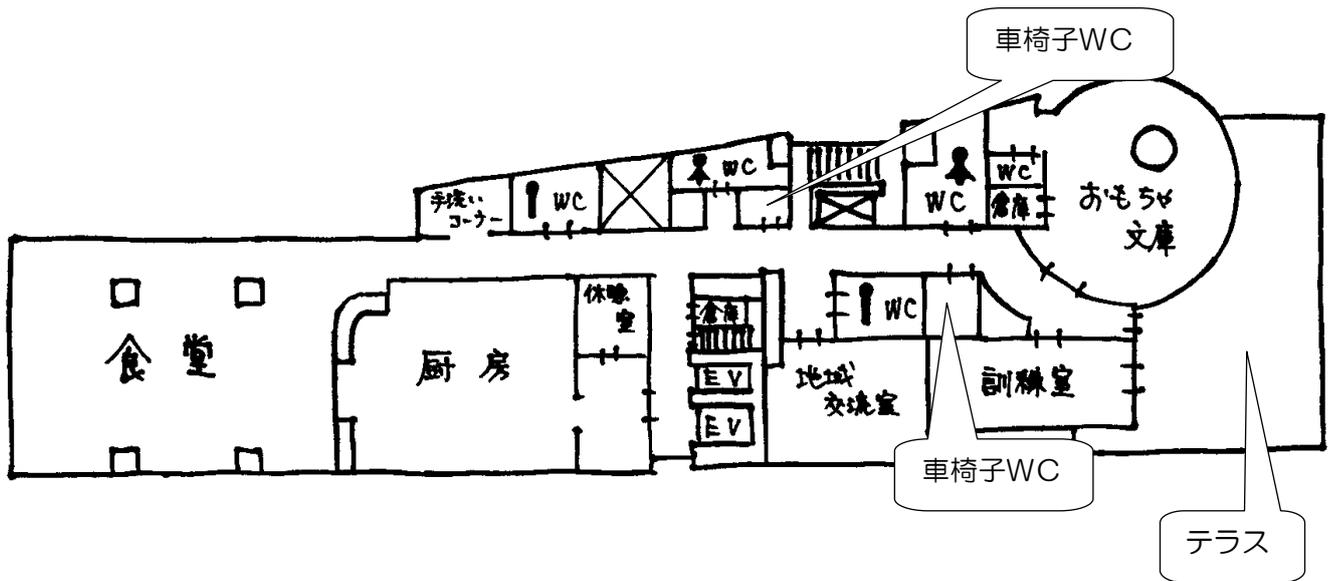
最終的に342人の方々にご来場頂きました。来場された方は皆満足そうな様子で中には出演者と記念写真を撮っていらっしゃる方もいらっしゃいました。

PR部会が主催する大きなイベントは今回で最後の予定ですが、今までのイベントで培ってきた多くのボランティアの方々や諸団体の方々との人間関係は、地域活動ホームがオープンした後、大きな財産になることと思います。

お忙しい中ご来場頂いた方々、ボランティアとしてご協力頂いた方々、そして落語愛好会の方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。



今回は、とっても眺めのいい5階を紹介します。  
食堂は、就労サポートセンター（県央福祉会）・障がい者地域活動ホーム（横浜共生会）共有スペース、地域交流室・訓練室・おもちゃ文庫は、障がい者地域活動ホームのスペースになります。



皆さん、なぜ建物特集の名前を「みんなのみなと」としたかご存じでしょうか？  
西区という地域がらにちなんだ名称でもあったのですが、「みなと（ポート）」っていろいろな意味があるんですよ。海にある港という意味以外にも「人が集まる場所」という意味やラテン語で「入口」というような意味があります。  
ここ（就労施設・地活）からスタートすることも出来るし、ちょっと休むことも出来る。物資を補給して再出発なんてこともアリです。これからずっと地域のみなさんの拠り所となれるよう、両法人で力を合わせて頑張ります！！

### 就労サポートセンター「エヌ・クラブ(N-Clap)」と決まる

社会福祉法人 県央福祉会  
常務理事 佐瀬 睦夫

今まで、県央福祉会の主だった施設の名称は、私の提案で決まってきた経緯があります。西区就労支援型施設（仮称）の名称に關しても、施設整備が始まると同時に、密かに私なりに考えていました。

例えば、「横浜一期舎<sup>いちご</sup>」という名称です。これは、一期一会から取ったものです。また、「ダビンチ倶楽部」という名称はどうだろうかと考えました。絵画、彫刻、建築、科学の技術と知識に通じ、極めて広い分野に足跡を残した人にあやかっただけの名称です。また、奇抜なところでは「ガンバレ・ニッポン」という名称です。「横浜」でもなく「神奈川」でないところがミソです。これ以外に30位の名称を考えました。しかし、今回は若い職員たちの声を大切にしようとも思っていました。就労移行担当や就労継続B型を担当する職員たちの前向きな姿や情熱に、私は、若手職員から上った「エヌ・クラブ(N-Clap)」という名称にしたいとの声に同意しました。

しかし、「〇〇一期舎」とか「ダビンチ倶楽部」等という名称を、いつか、施設整備の機会があれば、使いたいという捨て難いものもあります。

エヌ・クラブ(N-クラブ)の由来…

エヌはNext(次)のNと西区のNです。クラブとは拍手を送る、拍手かっさいをする。という動詞です。次(Next)のステップに羽ばたきチャレンジしよう。そして、肩をたたき励まそう(Clap)。そんなひとりひとりに拍手を贈り(Clap)応援していこう！という思いをこめて名付けました。

### 編集後記

1月は旧暦では「春」にあたります。このことから「春」という言葉には【新年の始まり、物事の始まり】という意味もあるそうです。寒い冬から次第に暖かくなり、雪や氷が溶け、植物が芽を出し、花々が咲いていく…。そんな【始まり】の季節がやってきました☆  
新施設「生活・創造・空間 にし」の開所もだんだんと近づいてきた今日この頃。春を迎え、心機一転ますます頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。  
「mignon☆」